

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額522億9,000万円に対して、決算額501億9,873万円（執行率96.0%）で、20億9,126万円の減となっている。内訳をみると、収益的収入の8割弱を占める営業収益では、下水道使用料収入が予算に比べ15億1,573万円減少し、一般会計負担金は主に雨水処理負担金の減により5億354万円減少した。なお、営業外収益については科目ごとに増減はあるものの、執行率100.5%で、ほぼ予算同額となった。

収益的支出は、予算現額503億5,900万円に対し、決算額480億7,734万円（執行率95.5%）であり、不用額は22億8,165万円となっている。その主な内訳は、人件費、委託料、動力費である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額269億4,628万円に対し、決算額224億980万円（執行率83.2%）で、45億3,647万円の減となっている。

資本的支出は、予算現額443億6,358万円に対し、決算額393億9,175万円（執行率88.8%）となっている。差額49億7,182万円のうち、39億8,281万円が翌年度への繰越額で、不用額は残り9億8,901万円である。

資本的支出のうち建設改良費は、予算現額275億3,258万円に対し、決算額は226億5,050万円（執行率82.3%）となっており、主な内訳は次のとおりである。

・管路整備事業：124億1,759万円 【改築・更新】 老朽管対策（屯田3条3丁目ほか下水道新設工事）等 【浸水対策】 雨水拡充管（I-04200（平岸4条1丁目ほか）下水道新設工事）等 【地震対策】 管路の耐震化（北3条東11丁目ほか下水道新設工事）等
・ポンプ場施設整備事業：4億5,442万円 【改築・更新】 藤野中継ポンプ場電気設備工事 等
・処理場施設整備事業：97億5,705万円 【改築・更新】 拓北水再生プラザ電気設備工事 等 【改築・更新】 西部スラッジセンター新1系焼却設備工事 等

企業債償還金は、167億4,096万円で、資本的支出の42.5%を占めている。

資本的支出393億9,175万円の財源については、企業債159億1,210万円、国庫交付金41億8,565万円、一般会計補助金4億979万円及び負担金19億225万円で充当し、不足する額169億8,194万円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6億4,343万円、繰越工事資金4,293万円、減債積立金14億3,679万円、過年度分損益勘定留保資金等47億4,774万円及び当年度分損益勘定留保資金等101億1,104万円で補填されている。